

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第12回講義

## 科学技術政策の視座 ～科学技術政策特論の振り返りに向けて～

国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター 企画運営室長

渡邊 康正 氏

「科学技術政策特論」の受講者のみなさんは、これまで、さまざまな分野における行政と科学技術の関わりについて学んでこられたことと思います。

すでに皆さんが学ばれたように、今日、「科学技術」は私たちの生活・社会・環境のあらゆる局面に深い関わりを持ってきており、関連する「公共政策」において「科学技術」、そして、理工系の思考がこれまで以上に重要になってきています。

今回の「科学技術政策特論」では、こうした「科学技術」の見方について皆さんと改めて考えてみたいと思います。

日時：  
2019年7月19日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所：

工学研究院

オープンホール

[B-201]

渡邊康正先生

東京都出身。東京大学工学部卒業、米・コーネル大学大学院修了(公共管理学修士)。

1989年科学技術庁(現、文部科学省)入庁。原子力政策、科学技術政策、経済外交、技術移転・イノベーション、科学技術国際協力、地球環境科学技術、科学技術政策の調査研究などに従事。最近では、国際科学技術センター(モスクワ)事務次長、農林水産省などを経て、2014年～2016年、北海道大学で「科学技術政策特論」を担当。環境省水・大気環境局 水環境課長を経て2018年7月より現職。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授  
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp